

## NPO 法人千葉自然学校 令和4年度 事業報告

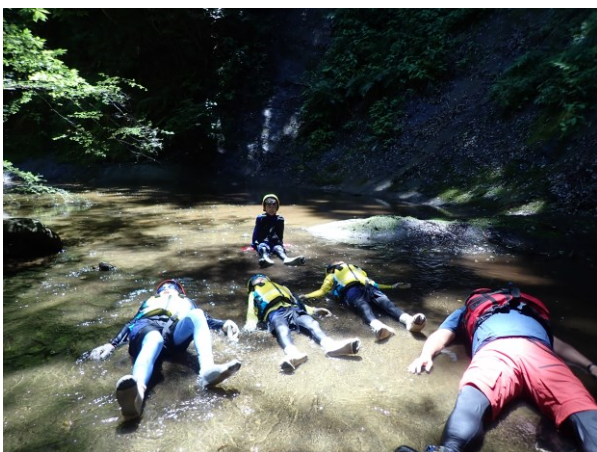
はじめに

理事長 久保田康雄

新型コロナの感染症法上の位置づけについて、5月8日に「2類」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」になりました。街中ではまだ、マスクをしている人たちを多く見ますが、次第にコロナ前の状況に戻っていくのだと思います。今年度は、今まで以上に多くの体験活動が行われることを願います。

さて、令和4年度のNPO法人千葉自然学校の事業報告をしたいと思います。令和4年度は、新型コロナの影響がまだ強く残っている年でした。千葉自然学校の指定管理の施設には、まだ受け入れ人数制限がありましたが、宿泊者数についてはコロナ前の80%の状態まで戻ってきました。今後も回復が期待されますが、コロナ禍を経て、学校の利用離れや利用期間の短縮などが進んだ可能性もあり、学校等への広報の重要性がさらに増してくるものと思われます。ちなみに、令和4年度は大房岬自然の家の指定管理の更新の時期に当たっていましたが、更新申請を行った結果、令和5年4月より令和9年3月までの指定管理を受けることが決まりました。

その他の事業では、受託事業はコロナ前の水準の75%まで回復し、ヤックス自然学校は、ほぼコロナ前の状況に戻ってきております。ろくすけ事業やシニア自然大学についても、コロナ禍において活発に事業を展開し結果、参加者の満足に繋がったと思います。また、会員校とのネットワーク事業として、ニュースレター、Facebookなどによる記事・情報のシェアや講師等の人材派遣やプログラムの協働実施などを行ってきました。まだ、全ての会員校と連携ができていないわけではありませんが、今後さらに努力を続けていくつもりです。簡単ではありますが、事業の報告とさせていただきます。詳細報告については、後のページをご覧ください。



前年に引き続き感染症対策を講じ、より安心安全な運営を心掛け、年間事業本数、参加者数共にコロナ禍前の運営状況にほぼ回復した年となりました。

コロナ禍を経て、野外で子どもの元気を発散する場(自然体験活動)を継続的に提供し、当校運営に理解のあるリピーターはもちろん、更には新規参加者を獲得した年となりました。

### ■令和4年度実績（令和3年度実績）

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1. 年間事業本数     | 58本(50本) +8本         |
| 2. 年間稼働日数     | 144日(113日) +31日      |
| 3. 年間収益率      | 31%(30%) +1%         |
| 4. 年間参加者数《延べ》 | 2,923名(2,766名) +157名 |
- \*リピーター率55%(59%)

### 「ヤックス自然学校らしい事業」

年間を通じて、子ども(幼児～中学生)とファミリーを対象に、経験・体力に合わせた四季折々の体験プログラムを提供しています。

千葉大学教育学部を中心としたキャンプリーダーの育成にも力を入れ、リーダートレーニングの実施や現場研修を積ませることで、安心安全で質の高いプログラムの提供を目指しています。



「わくわくクッキング」



「GWファミリーキャンプ教室」



「キャンプリーダートレーニング」



「サマー 1week 探検村」



「第47回スキーキャンプ」



「ホームステイ@古民家ろくすけ」

### 「人気事業・・・」

週末1泊2日 「わくわくクッキング、ホームステイ等」

長期休み 1泊～6泊 「はじめてキャンプ、1week 探検村、スキーキャンプ 等」

ファミリー 「GWファミリーキャンプ教室、親子スキーツアー等」



## 受託事業

企業や学校の活動が平常化してきた流れを受けて、事業数も昨年と比較すると倍程度の催行となりました。感染対策を施しつつも、失われた貴重な機会を取り戻そうとする社会の流れが大きな後押しとなりました。

また、SDGsをテーマとした学習活動を創出するための依頼が増加しました。高等学校における探求学習推進の流れも同様でした。今後はより踏み込んだ内容の機会提供が求められると考えられます。今後も、ネットワークを活かし、魅力ある地域の方々と協働しながら、社会のニーズに対応できる事業を展開していきたいと思っております。

### ■令和4年度実績(令和3年度実績)

1. 事業数	30事業 (17事業)
2. 委託元別	企業 10事業(9事業)
	学校 14事業(4事業)
	民間団体 2事業(0事業)
	行政関係 4事業(4事業)
3. ジャンル別	コーディネート 8事業(2事業)
	体験活動 13事業(6事業)
	人材育成 5事業(5事業)
	CSR 事業 3事業(3事業)
	地域活性 1事業(1事業)



私立高校探求学習プログラム  
@館山ジビエセンター  
(JTB(株))



海と日本プロジェクト in 千葉県  
(千葉テレビ放送(株)、(株)PLUS-Y)



「環境教育プログラム支援」  
協力: 大山千枚田保存会  
(コスモ石油千葉製油所)



「中山間ふるさと活性化チャレンジ事業」  
地域交流竹林整備@大山千枚田  
(千葉県農林水産部 農地・農村振興課)

## 指定管理 南房総市大房岬自然の家

新型コロナウイルス感染拡大の影響から 6 割程度回復した年度となりました。

しかしながら電気料金の高騰が大きく影響し経営の課題となっています。安定した施設運営のための対策について、南房総市と協議を重ねています。

今後、自然体験のニーズは更に高まると考えられます。新規エリアからの新規顧客の声に応えるべく、受け入れ態勢の構築と人材の育成に更に取り組みます。SDGs をテーマにした体験のオーダーが増えています。教育旅行、企業研修等を受け入れるべくプログラム開発を続けます。

### ■令和4年度実績（令和3年度実績）

1. 利用団体数 223団体（183団体）
2. 利用者数《延べ》 22,832名（20,287名）
3. 宿泊者数《人/泊》 12,008名（10,154名）
4. 主催事業 45事業 491名（35事業 398名）
5. 地域内受託事業 7事業（南房総市観光協会、南房総学受入れ市内6校）



「コーステアリング」一般・家族対象  
荒々しい断崖の美しい風景を冒険的に堪能！



「SDGsビーチコーミング」学校・企業  
漂着物から海の環境の今を学ぶ



「MAP's 合同会議」  
南房総エリアで活躍するアウトドア事業者  
とこれからの地域について意見交換



「嶺南中学校 海の自然体験」  
南房総学の授業受入れ。シーカヤック  
SUP の事業者連携にて実施



## 指定管理 千葉県立大房岬自然公園

令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もだいぶおさまり、公園利用、キャンプ場利用、主催事業参加などようやく例年並みに落ち着いてきた印象です。

職員が1名増えたことから、主催事業の企画数を例年以上に設定し、多くの方にご参加いただきました。また、団体からの指導依頼も積極的に受けてきました。特にSDGsをテーマにした森や海の体験の需要が高く、大房岬自然の家と協力して体験提供を行ってきました。今後も社会のニーズを見極め、積極的に事業を展開できるように努めてまいります。

### ■令和4年度実績（令和3年度実績）

1. 来園者数	136,654名（117,725名）
2. キャンプ場利用数	3,719張 5,533名（4,019張 6,046名）
3. ビジターセンター利用者数	11,625名（9,531名）
4. 主催事業	36事業 768名（23事業 548名）



「主催事業 ファミリーキャンプ教室」  
キャンセル待ちも出る人気事業



「主催事業 大房昆虫教室」  
利用者からのリクエストを受けて企画



森のようちえんはっぴーと一緒に  
行った湧水池の環境整備活動



団体での利用も徐々に再開された  
キャンプ場の様子

## 指定管理 千葉県立君津亀山青少年自然の家

令和4年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和3年と比較して利用者数が約1.5倍の30,282名まで増加しました。一方でコロナ禍前の利用者数平均は40,000人以上であり、例年の人数から比べるとまだ低い傾向にあります。

主催事業においてはコロナ禍を契機としたアウトドアや自然体験活動に対するニーズの高まりを受け、予約開始直後に定員に達する事業が多くありました。

ここ数年コロナ禍により実施が出来なかった身体的な接触を伴うチームビルディングゲームに対する要望が高まっているため、施設に新たに設置したエレメント(器具)を活用し、今後に向けて施設の周知・活用を図っていきます。

利用状況 目標達成率 平均138%

### ■令和4年度実績（令和3年度実績）

1. 利用団体数	440団体 (367団体)
2. 利用者数《延べ》	30,282名 (20,334名)
3. 宿泊者数《人/泊》	13,433名 (7,368名)
4. 利用者満足度	99% (99%)
5. 主催事業 参加者満足度	98%
事業数	56事業(37事業)
参加者数	2,222名 (1,302名)



主催事業「お月見どろぼう」



主催事業「山のフェスティバル」



エレメントを用いたチームビルディング  
Kimkame Adventure Program



環境教育関東ミーティング2022  
当施設を会場として開催



## 地域協働部 ちば・体験活動ネットワーク事業

当事業では、会員相互を図るため、千葉県の実験活動を発展させるために以下のことを実施しました。

### ■会員校との連携

県内の体験活動団体の相談窓口としての役割を担い、必要に応じた対応、助言を行いました。また、会員校のSNS記事(活動報告・案内)をリアルタイムでシェアをしました。

### OSNS シェア実績(2022年4月1日～2023年3月31日 12ヶ月間)

大山千枚田保存会	213記事(1,536 いいね)
銚子海洋研究所	103記事( 491いいね)
ワイズスノー&アウトドアスクール	59記事( 282いいね)
ちば里山センター	36記事( 224いいね)
たてやま・海辺の鑑定団	34記事( 275いいね)
森のようちえはっぴー	17記事( 114いいね)
さんむアクションミュージアム	6記事( 29いいね)
Live Stock	5記事( 21いいね)
ヤックス自然学校	5記事( 23いいね)
その他	12記事( 174いいね)
千葉自然学校(指定管理施設他)	202記事(1,605 いいね)
計	692記事(4, 774いいね)

**千葉自然学校**  
12時間 · 公開

2023/05/14/22:58/  
会員校 大山千枚田保存会。  
活動報告...本日は2団体の田植えと綿藍トラスト説明会が開催されており大山千枚田保存会です。  
何年も棚田にご支援いただいております鴨川リゾートクラブジャイロの皆様、そして東京の学童クラブの子どもたちが田植えを満喫！



**大山千枚田保存会 (千葉県鴨川)**  
12時間 · 公開

本日は2団体の田植えと綿藍トラスト説明会が開催されており大山千枚田保存会です。  
何年も棚田にご支援いただいております鴨川リゾートクラブジャイロの皆様、そして東京の学童クラブの子どもたちが田植えを満喫！夕方からは有難い天水シャワーが降り注ぎます。  
夜は第2回理事会が開催され、来週の大山千枚田保存会定期総会のための話し合い、**もっと見る**

**千葉自然学校**  
1日 · 公開

2023/05/13/18:48/  
会員校 たてやま・海辺の鑑定団。  
活動案内...沖ノ島のアマモ場は、平成25年頃から台風による砂の移動と食害により、減少傾向にあり、現在はほとんど失われています。

**NPO法人たてやま・海辺の鑑定団**  
1日 · 公開

沖ノ島のアマモ場は、平成25年頃から台風による砂の移動と食害により、減少傾向にあり、現在はほとんど失われています。2023年も苗を育成し、準備を進めており、引き続き移植会を行います。  
#沖ノ島森の再生活動  
#沖ノ島アマモ場再生活動  
#楽しむ事は忘れずに... **もっと見る**



UMIKAN.JP

2023年6月4日(日) **沖ノ島 アマモ移植会のお知らせ**  
沖ノ島のアマモ場は、平成25年頃から台風による砂の移動と食害により、減少傾向にあ...

## 1. 北総エリア

### ○ニュースレター 会員校掲載

千葉伝統郷土料理研究会(秋号)、「わたしの田舎」谷当工房(春号)

### ○その他

シニア自然大学講座「体験団体との交流会(ボランティアマッチングイベント)」

(一般社団法人さんむ・アクションミュージアム、ピーちゃんクラブ、NPO 法人佐倉みどりネット参加)

会員校訪問(ピーちゃんクラブ、食と農の体験工房「よもぎ館」)



シニア自然大学講座「体験団体との交流会(ボランティアマッチングイベント)」



会員校訪問(ひょうたんクラフト作り)  
食と農の体験工房「よもぎ館」

## 2. 上総エリア

ニュースレター、Facebook などでの情報発信ツール紹介、ならびに情報収集、掲載募集(掲載募集に関する書類を送付・ヒアリング:ニュースレター春号、秋号の発刊準備の時期に)

### ○ニュースレター 会員校掲載

株式会社かずさアカデミアパーク(春号)、NPO 法人大山千枚田保存会(秋号)

### ○千葉県立君津亀山青少年自然の家 アクティビティ集にプログラム掲載

Live Stock、NPO法人大山千枚田保存会

### ○人材派遣、講師依頼

NPO 法人大山千枚田保存会 学校団体向け生き物観察 庄司 香山 黒木

NPO 法人大山千枚田保存会 中山間地域スタディツアー 長瀬

NPO法人大山千枚田保存会 千葉県立君津亀山青少年自然の家アクティビティ講師

NPO法人大山千枚田保存会 関東環境教育ミーティング 対談登壇者

### ○その他

NPO法人大山千枚田保存会 石田三示理事長 千葉県立君津亀山青少年自然の家 運営委員会委員

NPO法人大山千枚田保存会 千葉県立君津亀山青少年自然の家 食堂で使用する米の発注(地産地消)





関東環境教育ミーティング 対談登壇  
NPO法人大山千枚田保存会  
浅田事務局長



千葉県立君津亀山青少年自然の家  
アクティビティ 羊毛玉ストラップ作り  
を通してひつじを知ろう  
Live Stock

### 3. 南房総エリア

事業での連携をベースに、大房のプログラム集の掲載やニュースレターのインタビューなどで、コミュニケーションを図りました。

○ニュースレター 会員校掲載

道の駅 とみうら枇杷倶楽部（春号）、千倉町民宿組合（夏号）

○アクティビティ集にプログラム掲載

株式会社ちば南房総、NPO法人たてやま・海辺の鑑定団

○人材派遣、依頼

【人材派遣】 岩井民宿組合 大謙館 スライドショープログラム実施

【人材依頼】 NPO法人たてやま・海辺の鑑定団 受託事業プログラム依頼

○その他

NPO法人たてやま・海辺の鑑定団 SDGsプログラム共同実施、アマモサミットへの協力、MAPsでの連携

白浜オーシャンリゾート 自然の家プラネタ利用

千倉オレンジセンター 望遠鏡を活用したプログラム相談あり。

岩井民宿組合 千葉市農山村留学

一般社団法人森のようちえんはっぴー 大房岬自然公園湧水池の環境整備実施



館山で開催された  
アマモサミット2022



森のようちえんはっぴーと  
大房岬湧水池の環境整備を実施

## 地域協働部 千葉シニア自然大学 第10期

令和4年度は、前年度までの本科、専攻科の仕組みを大幅に変更し、Aコース「ちばの里山里海の自然講座」、Bコース「天文・地球(気象・地震・地質・生きもの)講座」、Cコース「自然と俳句」、「自然体験活動講座」の4コースとし、4月に予定通り開講しました。

受講生の人数は、A,B,C合わせて50名、又随時に聴講した者は延べ87名となりました。

開講当初は、新型コロナウイルス感染症の状況は、落ち着いた状態にありましたが、夏場から秋冬にかけて2度(第7波、8波)にわたり、感染が拡大したため、講座の会場を前年度同様に、千葉駅周辺の公共施設を利用することとしました。

各講座の度に検温、消毒、マスクの着用など感染防止対策を徹底しながら実施しました。

講座を進める上では、厳しい状況にありましたが、講師の皆さまには、熱心に講座を進めて頂きました。

また、事務局としても受講生や卒業生にできるだけ学ぶ機会を提供したいとの考えから、千葉市が実施していたバス利用促進のための助成事業を積極的に活用し、

- ① シニア自然大学の卒業生による「古民家ろくすけの蔵でアート展」の見学。
- ② 富士山山麓にある「青木ヶ原樹海」への日帰り旅行。
- ③ 館山市、南房総市に現存する古い時代の巨大地震による地形変化の学習。
- ④ 九十九里、銚子方面に現存するジオパークの学習や地域に密着した銚子電鉄の体験乗車。

など4回にわたり実施し、受講生、卒業生の学びや仲間づくりに寄与すると共に、本校への信頼、醸成に努めました。

令和5年度は、A,B,C合わせて43名と講座期間中に随時に聴講を希望する者の受け入れでスタートすることとしました。

本校を受講するすべての人に、受講して良かったと評価されるよう努めたいと思います。



千葉シニア自然大学 授業風景

「山歩きの魅力を探る」授業の、君津・三舟山、展望台

「都市公園の自然観察(新宿御苑)」授業のプラタナス葉芽の観察



## 地域協働部 古民家ろくすけ事業プロジェクト

古民家ろくすけは、地元住民及びボランティアの方々の積極的な協力に支えられ円滑な事業実施が出来ました。

### 1. 農泊・ホームステイ・撮影の受け入れ

- 農泊:8件(新規3件、リピーター5件)。家族や友人同士で1泊～2泊で利用。  
里山の雰囲気を楽しむこと、まだコロナ禍であったため、グループでの一棟貸しが出来る点などで好評の声をいただきました。
- ホームステイ:宿泊9件、日帰り1件
- 撮影利用:4件(飲料CM、NHKドキュメンタリー等)

### 2. 地域産物の加工品販売、郷土料理・加工体験の実施

- 加工品販売:ろくすけ餅、みそ、ジャム、クッキーをイベント、海の駅九十九里、千葉自然学校千葉事務所及びふるさと便で販売を行いました。
- 郷土料理・加工体験会の開催。ろくすけ餅、米粉クッキー、ごんじゅう体験会  
開催5回、参加者23人 9月～1月
- みそづくり体験会。開催18回 参加者 生徒81人、大人45人 1月～3月

### 3. 平群ツーリズム協議会、「ろくすけの会」、千葉シニア自然大学等と連携した地域活動

- 蔵ギャラリーの開催:9月16日～30日 参加者211名
- 棚田、旧道の再生整備、大豆等の栽培: ろくすけの会 8回 66名
- 安房高等学校生物部によるビオトープづくり:棚田を利用したビオトープと田んぼ作りプロジェクト。9月から月約2回程度整備や観察会を実施。  
2月にはアカガエルの産卵が見られるなど、生物の生息環境として利用されています。
- 富山学園中学3年生によるいちじく苗の植栽:3月6日 40名

### 4. 施設・設備の維持管理、補修の実施(母屋の屋根補修、長屋門屋根補強等)。

長屋門のブルーシート張替え補修を行いました。



味噌づくり教室。  
大豆300キロを仕込みました。



ろくすけの会による畑の整備作業。



シニア自然大学の卒業生による「古民家ろくすけの蔵アート展」の見学。



里山の桜咲く中、軒先で楽しむ宿泊利用者。

## 地域協働部 体験農園 in 岩名

開園9年目も、コロナ禍から引き続き、需要の多い年となりました。

当法人は事務局として広報、受付等を担当し、会員校でもある NPO 法人佐倉みどりネットと千葉シニア自然大学卒業生による現場運営を行いました。

### 1. 体験農園の運営

面積:3,199㎡

構成:体験農園(32区画)、実演圃場、研修圃場

利用者数:32組

### 2. 講習会等の開催

栽培講習会 年間9回

### 3. その他

手作り味噌セットの販売

自宅で容器に詰めて、9月頃まで楽しみにお待ちいただくだけの簡単セットの販売を行いました。手作り味噌で、秋冬野菜をさらに楽しんでもらいました。

千葉県 佐倉市

「体験型農園」の2022年度新規参加者募集中!

# 体験農園 in 岩名

「農」のある暮らしをしてみませんか。  
安心でおいしい野菜作りに挑戦したい方を応援します。

- 週末に野菜作りの講習会があります ⇒ 初めて挑戦する方も安心。
- 1区画は30㎡。年間30~35品種の野菜を栽培します ⇒ 体にも家計にも優しい。
- 道具や野菜の種苗は農園が準備します ⇒ 手ぶらでらくちん。
- 有機肥料と堆肥で土づくり。農薬は最低限だけ使います ⇒ 安心な野菜が食卓に。
- 収穫祭や勉強会などイベントもあります ⇒ 大人も子どもも楽しめる。
- 岩名運動公園の駐車場の隣です ⇒ とっても便利♪休憩はお隣の芝生広場で。

●期間…3月中旬～翌年1月末  
●費用…年間 45,000円(税込)  
●栽培する野菜…年間 30~35 品種

【※実】ジャガイモ、コマツナ、トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、トウモロコシ、エダマメ等  
【※採】ホトトギス、フロッコリー、ニンジン、ダイコン、カブ、ハクサイ、人参、ホウレンソウ、キャベツ等

作物の種類	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培
ジャガイモ	準備	栽培																		
トマト		準備		栽培		収穫														
キュウリ		準備		栽培		収穫														
ナス		準備		栽培		収穫														
コマツナ、カブ		準備	栽培	収穫	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培	準備	栽培
ダイコン		準備																		
フロッコリー		準備																		
ハクサイ		準備																		
サトイモ		準備																		

毎日新聞「2018 毎日農業記録賞」で千葉県長賞を受賞しました。

体験農園 in 岩名 (事務局: NPO 法人千葉自然学校) フログですー  
☎ 043-227-7103 FAX 043-202-7237 ✉ nouen@chiba-ns.net

以上